

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【国際公開番号】W02006/064819
 【年通号数】公開・登録公報2008-023
 【出願番号】特願2006-548864(P2006-548864)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 23/202 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 23/202

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/15 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

重水中に溶解又は分散した被検タンパク質に冷中性子を照射し、当該冷中性子の散乱から被検タンパク質の形態を測定することを特徴とする、被検タンパク質の形態変化に起因する疾患の判定方法。

【請求項2】

被検タンパク質の形態変化が、被検タンパク質の形状及び/又は大きさの変化である請求項1記載の判定方法。

【請求項3】

被検タンパク質が、生体由来の遺伝子を使用して合成されたもの又は生体から分離されたものである請求項1又は請求項2記載の判定方法。

【請求項4】

被検タンパク質の形態が、生体中に存在する状態と同様である請求項1～3のいずれか1項記載の判定方法。

【請求項5】

被検物質で処理された対象タンパク質又は被検物質を投与された動物から分離された対象タンパク質を用いる医薬のスクリーニング方法であって、重水中に溶解又は分散した対象タンパク質に冷中性子を照射し、当該冷中性子の散乱から対象タンパク質の形態を測定することを特徴とする、対象タンパク質の形態変化に起因する疾患の治療薬のスクリーニング方法。

【請求項6】

対象タンパク質の形態変化が、対象タンパク質の形状及び/又は大きさの変化である請求項5記載のスクリーニング方法。

【請求項7】

対象タンパク質が、生体由来の遺伝子を使用して合成されたもの又は生体から分離されたものである請求項5又は6記載のスクリーニング方法。

【請求項8】

被検タンパク質の形態が、生体中に存在する状態と同様である請求項5～7のいずれか1項記載のスクリーニング方法。